

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 16 年 11 月 25 日 (2004.11.25)

【公開番号】特開 2002-72737 (P2002-72737A)

【公開日】平成 14 年 3 月 12 日 (2002.3.12)

【出願番号】特願 2000-267534 (P2000-267534)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 15/20

G 0 3 G 9/107

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 3

G 0 3 G 15/20 1 0 9

G 0 3 G 9/10 3 3 1

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 5 日 (2003.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像情報信号に対応した静電潜像を像担持体に形成し、トナー粒子とキャリア粒子とを有する二成分現像剤を用いて前記静電潜像を現像して未定着画像を形成し、該未定着画像を転写材に転写する画像形成手段と、定着回転体及び加圧回転体を少なくとも有しこれらにより該転写材を挟持搬送して未定着画像を定着させる定着手段とを有する画像形成装置において、

前記キャリア粒子は、バインダー樹脂及び磁性金属酸化物を少なくとも含み、形状係数  $SF - 1$  が  $100 \sim 150$ 、 $SF - 2$  が  $100 \sim 150$  の範囲であり、且つ、前記定着回転体は、弾性層とフッ素樹脂よりなる離型層とを有し、 $1\text{ kg}$  の荷重を与えたときの  $asker - C$  硬度が  $60 \sim 85^\circ$  であることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記キャリア粒子は重合法により生成することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記定着手段は、前記定着回転体に接触し、定着回転体の温度を検知する定着回転体温度検知手段を有することを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

画像情報信号に対応した静電潜像を像担持体に形成し、トナー粒子とキャリア粒子とを有する二成分現像剤を用いて前記静電潜像を現像して未定着画像を形成し、該未定着画像を転写材に転写し、定着回転体と加圧回転体とを有する定着手段により該転写材を挟持搬送して未定着画像を定着させる画像形成方法において、

前記キャリア粒子は、バインダー樹脂及び磁性金属酸化物を少なくとも含み、形状係数  $SF - 1$  が  $100 \sim 150$ 、 $SF - 2$  が  $100 \sim 150$  の範囲であり、且つ、前記定着回転体は、弾性層と、フッ素樹脂よりなる離型層とを有し、 $1\text{ kg}$  の荷重を与えたときの  $asker - C$  硬度が  $60 \sim 85^\circ$  であることを特徴とする画像形成方法。

【請求項 5】

前記キャリア粒子は重合法により生成することを特徴とする請求項 4 記載の画像形成方法

。

【請求項 6】

前記定着手段は、前記定着回転体に接触し、定着回転体の温度を検知する定着回転体温度検知手段を有することを特徴とする請求項 4 記載の画像形成方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 3】

この感光ドラム 1 上のイエロートナー像は、転写ドラム 5 a に担持された記録材 P に転写される。記録材 P は、原稿画像に適した大きさの記録材 P であり、所定の給紙カセット 8 a から給紙ローラ 8 b、搬送ローラ、そしてレジストローラ 8 c 等を介して所定のタイミングで転写ドラム 5 a に供給されたものである。このようにして供給された記録材 P は、転写ドラム 5 a の表面に巻き付くように吸着されて矢印 R 5 方向に回転し、転写帯電器 5 b によって感光ドラム 1 上のイエロートナー像が記録材 P に転写する。